

平成21年9月11日

貧酸素水塊速報 (2009年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
【協力】 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
千葉県環境研究センター 東京都環境局
第三管区海上保安本部 千葉灯標モニタリングポスト
国立環境研究所
(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成21年9月7日観測結果

貧酸素水塊は依然として内湾のほぼ全域に分布しており、その規模は今年最大(51%)を示しました(図1及び図3)。千葉県水質保全課からの情報によると、先週の8月31日～9月1日に湾奥の船橋～千葉市地先で青潮が発生した模様です。内湾北部の底層には、ほぼ無酸素状態の水塊がまだ5mほどの厚みを持って分布しています(図2)。引き続き、青潮に対して注意が必要です。

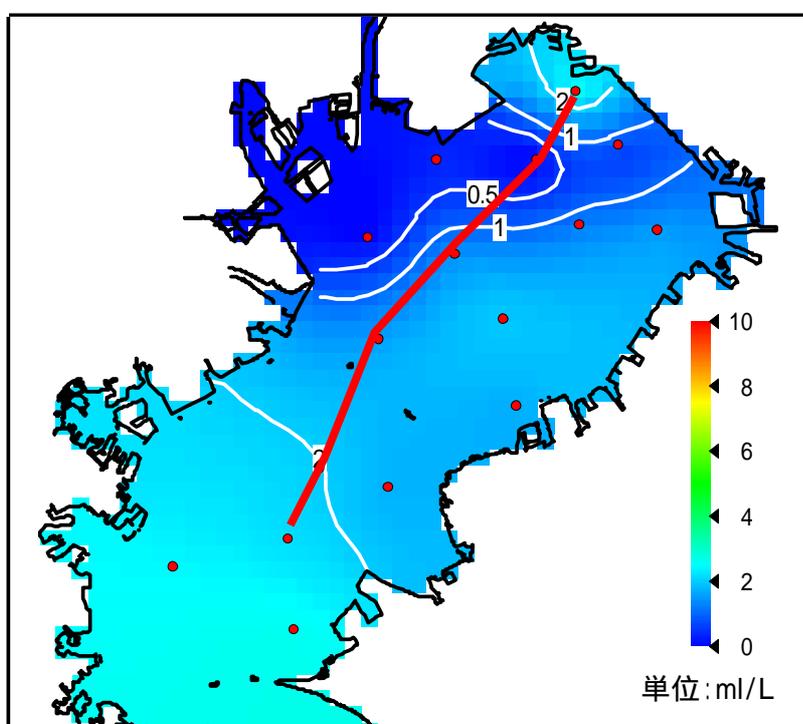


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

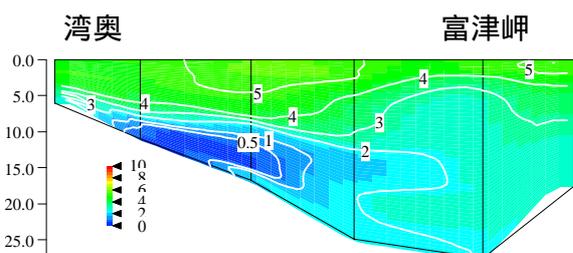


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

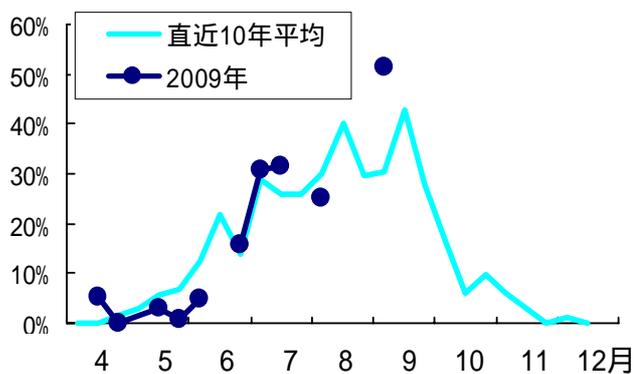


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)